

フレンドシップの情報誌



第 2 号  
2020.12

PICK UP 企業

株式会社西田工業

## 目次

- Pick up 企業／会社概要
- 実習生についてお聞きしました！
- フレンドシップ協同組合スタッフとお散歩
- フレンドシップ協同組合 スタッフ紹介

## 株式会社西田工業

鉄骨工事一式

## 会社についてお聞かせください！

## 会社の事業案内



私たちが製作する鉄骨は、建築物の柱や梁となるものです。設計図に基づいて溶接・塗装をして建設現場へと搬入されて行きます。当社は国土交通大臣の「Mグレード」工場として認定され、柱はロボット製作が可能であり、10t クレーンを所有しています。これにより製薬会社の工場、プロ野球チームの練習場など幅広い建築物に携わっています。

元々は、創業者である父（西田勇氏）が始めた溶接屋であり、その確かな技術を強みとして現在の事業に至ります。

## コロナ禍による働き方に変化はありましたか？

建設業界は、2020 年の東京オリンピックに向けた建設ラッシュが2019 年に始まりました。当時は、「オリンピックに間に合うのか？」というほどに忙しい日々でした。

なので、2020 年は幾分かは暇になることの心構えはありました。しかし、コロナウイルスの流行は予想外の事であり、予想されていた閑散期に加え、不況の煽りを受けて予定していた建設が中止・延期になりました。また、新規案件に関しては申請手続きに時間がかかるため、遅れて仕事に影響してきました。これは、精神的なダメージが大きかったですね。

マスクや消毒はもちろん実施しています。工場内は、対面での仕事がないため3密の心配はなく、働き方に変化はありません。いま会社としては、従業員の生活を守ることが最優先だと思っています。先代の頃から長く働いてくれる人もおり、関係も良好です。必要以上の利益があれば従業員に還元していきたいですし、何より事業が続けていけるように、改めて地盤固めをしているような状況です。



## 今後の展開についてお聞かせください。

止まってしまった建設現場もありますが、大型物件と呼ばれる建設現場は予定通り始まっています。同じ建設業界でも二極化されています。勝ち抜いてもさらに二極化されていきます。これまでより、厳しい業況になることが考えられます。

来年は勝負の年として、2年後を一つの目処に、これまで通りの事業に回復させていきたいと考えています。

そして、守るだけでなく投資という形になりますが、鉄骨を必要としている業種を探したいと考えています。実際にこれから発展が期待される事業にも関われそうなので、慎重に話を進めていきたいです。コロナウイルスによって思いもよらない事態ですが、「今考えられる最善の一手」が打てるよう、見極めていきたいですね。



## 実習生についてお聞きしました。

実習生の人数 : 7人 受け入れの国 : ベトナム

### 実習生の受け入れ状況について教えてください。

現在は、ベトナム人男性7人を受け入れています。フレンドシップ協同組合とは先代からの付き合いで15年ほどになります。まだ私も現場で仕事をしていた頃で、前理事と先代が仲良く紹介してもらったのがきっかけです。

実際に、当社に来てくれる外国人は、それぞれに個性があり日本を堪能する人もいれば、物静かな人もいます。いずれのタイプも仕事となれば、まじめに取り組んでくれています。

優良実習実施者として受け入れられる人数も多く、最長で5年間働いてくれるので当社に欠かせない存在になっています。働いてもらえる期間は長くなり助かっていますが、場合によっては複数人の帰国が重なるタイミングがあるので、工場での作業に影響が出ることを心配しています。

### 良い人材を見つけるポイントを教えてください。

新しい試みとして、前回の面接よりリーダー格となるベトナム人を同席させています。これは、人物像を知りたいからです。どんなに優れた人材であっても、適性がなければ仕事はできません。そして、今働く外国人との相性もあります。的確なアドバイスをしてくれるので採用も上手くいき、当社ではトラブルなく受け入れることができます。

来日するまでにテレビ電話で話したり、ビデオで技術の練習風景を確認しています。こうすることで、器量の良さ、体格なども知ることができますし、どんな仕事が任せられるかイメージすることができます。



## 仕事に対する姿勢を見ていかがですか？

仕事に対して意欲的な人が多いなと思います。ロボット製作、溶接など、どの作業にも興味を持ち、「やってみたい」と言ってくれます。とても嬉しく思っていますが、仕事の適性もあるので、あえて別の作業を任せていることがあります。そんな時には、空き時間を利用して作業を見て、質問をして勉強をしています。

今でこそ私たちもチャレンジしたい気持ちに応えることができますが、受け入れ当初は、こちらの手探りな状況でした。できることや任せていい作業が分かりませんし、危険な上、ロボットも高額ですから、こちらも教えることが不安でした。大事なことを伝え、見守る形で作業をしてもらったところ、良い結果を得ることができました。



鉄骨の審査は厳しく誤差3mm以内に仕上げなくてはなりません。ただ作るだけではダメなこと、高品質な製品を供給すること、その大切さを理解してくれているので、当社としても高い技術力と製品を維持することができています。

## 言葉の壁による苦労や、工夫しているところは？

当社でも言葉の壁による苦労はあります。そういった場面は何度かありましたが、私自身が思うのは、ニュアンスでは伝わらないということ、理解できているのか確認が必要だということです。

以前、山のように積まれた鉄骨があり、崩れる危険性を考え「一番上の鉄骨を下ろして欲しい」と日本人が指示を出しました。しかし、「鉄骨が下ろされていない」と、注意をする日本人に対して、ベトナム人は「鉄骨を下ろした」と、言い争いになったことがあります。

結果的に言えば、地上に下ろして欲しかった日本人と、一段下に鉄骨を下ろしたベトナム人ということになるのですが、日本人同士ならニュアンスで伝わるところが、ベトナム人には伝わらず、また危険性についても理解できていなかったことが分かります。

指導してもらう従業員には、伝える側にも責任があることを話しています。伝える手段として、仕事に必要な単語を一覧にして、写真を添えて日本語とベトナム語を表記したものを作成しました。もちろんベトナム人にも渡しています。

歓送迎会や旅行（現在は控えています）など理解し合える環境を整え、双方の良好な関係を継続していきたいですね。





#### □溶接部超音波検査

鉄と鉄を溶接で溶かし接合したところを、専門の機械で検査している所。溶かしこみができてないと地震の際の建物崩壊につながるため、溶接マン、検査マンの技量の集大成部分です。

## 今後も受け入れを続けていきますか？

当社では求人を出しておらず、今後も受け入れを続けていく予定です。一つ悩みとしては、先にもお話したように、実習期間が終われば帰国してしまうことです。技術を習得して、母国の発展に尽力することが目的の制度なので、当たり前のことですが、やはり鉄骨製作の戦力として頼りにしているので、人材を失うのは辛いです。

確かな技術を受け継いでくれる人材育成を考えると、日本人を採用することも考える必要があると思うようになりました。

制度として決められたことではありますが、実習期間や受け入れのタイミングなどをフレンドシップ協同組合の方と相談していけたらと思います。

## 最後に

おかげさまで大きなトラブルもなく、実習生からも「働きやすい会社」と、担当者に話してくれているようで、私たちも嬉しく思っています。

ダメなことはダメと厳しく接することもあります。相手への思いやりを忘れないように指導しています。言葉の壁はありますが、誠意を持って接することで真面目に働いてくれると思います。



Friendship Cooperative

# フレンドシップ協同組合

この日は、お散歩日和でした。

今回の「ship #02」の内容をどうするか？というの打ち合わせに行った際、「人」だけを載せるのではなくて、「環境」も載せてはどうか？というご提案をいただきました。

そこで早速、スタッフさんと一緒に事務所近くの白川公園に散歩にいかせていただきました。

11月の中旬。紅葉した葉も落ち始め、肌寒くなってきました。ですが、この日は、程よい風が吹き、太陽の温もりを感じられる心地よい晴れやかな日でした。フレンドシップ協同組合のスタッフさん、特に事務所にずっといる事務の方は普段からお昼休憩などで、こちらの公園で散歩する方もいるそうです。

名古屋の都市部はあまり自然を感じられる場所少なく、このような環境が近くにあると季節感を感じたり、仕事の気分転換にもなり、とても素敵な環境です。私は、事務所での仕事モードのスタッフさんの表情を見ることがほとんどですが、普段とは違った、寛いだ優しい笑顔を見ることができました。

仕事面だけではなく、こういったフレンドシップ協同組合の人柄も、これからの「ship」で時折、お伝えしていきたい思います。

文：山本将大（はじめるクリエイト）



## スタッフ紹介



### HO THANH THINH ホー ターン ティン

○出身国／ベトナム ○部署／ベトナム課

○フレンドシップに入ってからどのくらい／2年8ヶ月

#### □お仕事内容

外国人技能実習生の管理をする仕事。

お客様から技能実習生受け入れの申し込み依頼を頂き、現地で面接できるまでの段取りをし、案内役として一緒に行かせていただいています。人選で決まっ

た実習生は入国してから、空港の送迎はもちろん、生活や仕事ができるまでの必要なお手伝いをしております。また1ヶ月目は当組合の研修センターで日本語や日本の法律の講習を実施するので、日本語も教えています。

各受け入れ先での3年又は5年間いる間にお客様と協力し、出国するまで実習生のサポートをしています。

#### □趣味などありますか？

スポーツをすること。

強くはありませんが、卓球とバドミントンが好きで中学生のときからやってきました。土日に卓球とバドミントンを楽しみにしています。スポーツをする時に叫んだり、笑ったりすることで、人生の悩みを忘れてしまいます！（笑）県内でのスポーツ大会にも出たりしていますが、勝ち負けは考えず、努力して結果が出ると自信になり、結果が出ないとしても経験が残ることがわかってきました。

#### □これからやっていきたいこと（挑戦したいこと）

仕事面：今まで上司や先輩方は仕事を円滑に回れるように良い環境を作ってくれていますので、この環境を崩さず、もっとお客様との信頼関係を築き、上司や先輩方の期待に応えられるよう努めていきたいと思っています。

プライベート面：年明け頃、初めての子供が生まれてくるのでワクワクしながらも全く子育て経験のゼロの自分でも大丈夫かな？と心配しています。子供に名付けることだけでいっぱい悩んできました（笑）。忙しい日々の中、大変だと思いますが、子育ても上手くできるよう頑張っていきたいと思っています。

#### □フレンドシップで働いて学んだこと（感じたこと）

自分も日本に来たばかりの頃、わからないことばかりで不安しかなかったです。先輩たちに助けてもらい、本当にありがたいと思いました。今、自分の力で実習生たちにお手伝いし、「ありがとう」と思ってもらうだけで嬉しく思い、この仕事のやりがいを感じます。

実習生の大人数の中、みんながそれぞれの性格や考え方があるので頑張ってる実習生たちを見て自分ももっと頑張らなきゃいけないなと思って、応援したくなります。実習生の悩み事や困ってることは色々あり、自分の体験したことのない問題もたくさんあります。この経験を活かし、いつか自分も周りの人たちも経験外の悩みを抱えた時に慌てず上手く解決できるのではないかと自信を持つようになりました。

自分にとっては空港で見れる実習生たちの笑顔が一番素敵だと思います。実習生たちが家族、親戚一同に見送られ、大きな希望を胸に海を渡り、無事に日本に入国できた時のホッとした笑顔と、また3～5年後に無事に実習期間を終え、培ってきた知識やスキルを持って成長した実習生たちが、もうすぐ家族に再会できる嬉しさを隠せない笑顔です。その2つの笑顔の瞬間はいつ見ても素敵だと思うと同時に仕事へのやりがいにも繋がっています。



# 組合理念 世の為・人の為 人は石垣 人は城 フレンドシップ協同組合

「一人は万人の為に、万人は一人の為に」の精神の下、異業種間の総合扶助を目的に設立されました。企業であれ組合であれ、何のために組織を運営していくかという理念が必要です。その理念として「世の中の為」になる事業である事、「人の為」になる事業である事を掲げました。また、組織が大きくなるにつれ、どんなに素晴らしい理想があっても、どんなに立派な施設に入っているにも実行するのは人との考えが増すばかりです。人の大切さを自覚し、武田信玄公の教えに習って「人は石垣 人は城」をも併せて組合理念として掲げました。クレジットカードなどに永久不滅ポイントというのがありますが、この事業も永久不滅に継続させていきたい幸いです。



〒 460-0008

名古屋市中区栄三丁目 11 番 31 号グラスシティ栄 5F

TEL : 052-262-3500 (9:00 ~ 18:00)

FAX : 052-262-3501

URL : <http://friendship.or.jp>